



## 「F I C C世界オートキャンプ大会」とは

F I C C（国際オートキャンピング連盟、本部ベルギー）はヨーロッパを中心に現在では 39 国 77 のクラブが加盟するキャンプの世界組織。その中心活動が世界各国の人が集まり、キャンプを通じて国際交流を行う世界オートキャンプ大会です。1933年にイギリスで第1回大会が開催されてから、第二次世界大戦による7年間の空白を除き、ヨーロッパを中心に毎年開催されている世界規模のイベント。

大会期間中は、一緒にキャンプを楽しむことや、会場で行われる各国主催のパーティーなどに参加することで国内のキャンプでは味わえない世界各国の人との一体感を感じることができます。また、期間中にはエクスカージョンと呼ばれる日帰り旅行が開催され、一緒にキャンプを楽しむ世界各国の仲間と、周辺各地の観光を楽しむことができます。

通常世界大会はヨーロッパで開催されますが、2019年には福島県で開催され、翌年からはコロナなどにより開催が中断されていました。今年の会場は台湾。ヨーロッパ開催よりも参加しやすいので是非、この機会に世界のキャンプを体験してください。

### ○これまでの世界大会の様子

#### 2018年 ドイツ大会

18年ドイツのパーレム・イム・グリーンで開催された世界オートキャンプ大会には、ヨーロッパ各国からおよそ800組が集まり日本からも15名が参加。入場行進では各国の旗を掲げ近隣の街を練り歩きました。日本からの参加者も各国で開かれるパーティーに参加し、会場で知り合った仲間を招待してパーティーを開くなど、キャンプを通じた各国の人とのふれあいを楽しみました。



#### 2019年福島大会

2019年には世界大会が福島県の羽鳥湖高原で開催された。「観光」「交流」「復興」をテーマに日本人696名を含む世界各国のキャンパー826名が参加。交流促進センターを中心に、エンゼルフォレスト白河高原と羽鳥湖畔オートキャンプ場を会場に開会から閉会式までの10日間、特別なキャンプを楽しんだ。期間中、海外参加者には福島を知ってもらうためのエクスカージョンを実施。鶴ヶ城など観光地の他、福島の実況を知ってもらうため「福島第一原発の視察」も。閉会式では各国との参加者の別れを惜しむ姿があちこちで見られました。



## 「第95回 F I C C 世界オートキャンプ大会in台湾」へようこそ

代表挨拶

### ■FICCジョアン・アルベス・ペレイラ会長



2025年に台湾で開催される第95回FICC世界オートキャンプ大会の主催者は中華民国露營協会（CAROC）です。この世界大会は、「フォルモーサ」（美しい島）に世界中のキャンプ愛好者が集まり、一緒にキャンプすることを通してつながるイベントです。台湾で世界大会が開催されるのは今回で4回目です。今回の世界大会は2025年4月25日から5月4日まで開催され、世界中のキャンパーが各国のキャンパーとの出会いを求めて集まります。

会場となるのは台湾東部の宜蘭（イーラン）海岸国家風景区にある龍門（ロンメン）キャンプリゾートです。会場周辺では美しいビーチ、奇岩の景色で知られる海岸線、静かな漁村など、様々な台湾の海の景色を楽しむことができます。この景勝地と新北市の支援、そしてこの世界大会のために用意された様々なプログラムが参加者をきっと満足させてくれるでしょう。

FICCの古くからの会員である中華民国露營協会が、創立50周年を記念して世界大会を開催してくれることに心から感謝の意を表します。

「台湾はあなたを感動させる」という有名な曲に歌われているように、台湾でのキャンプ大会は必ずやあなたを感動させ、楽しく、忘れられない特別な時間になるでしょう。

※台湾観光局制作「台湾はあなたを感動させる」

<https://www.youtube.com/watch?v=xE4QK67DtDk>



### ■新北市 ホウ・ヨウイ市長

新北市貢寮区にある龍門キャンプリゾートを第95回FICC世界オートキャンプ大会の会場として選んでいただき大変光栄に思います。新北市は人口の点で台湾最大の都市であることに加えて、山、川、海岸地域などの美しい景観と独特の地形も魅力です。会場となる龍門キャンプリゾートは山と海沿いに位置する市内で最も素晴らしいキャンプリゾートです。皆さんが思い出に残る体験を楽しむことを信じており、世界大会の成功を心よりお祈りいたします。



### ■中華民國露營協会 シンハオ・チェン会長

第95回FICC世界オートキャンプ世界大会を新北市の南雅区から蘇澳郷の南岬の宜蘭海岸まで102kmにわたって広がる国立公園で開催します。

会場の「龍門キャンプリゾート」は変化に富んだ海岸線と、川、棚田、緑の丘など台湾の素朴な自然を体験できる景勝地にあるキャンプ場として知られています。中華民國露營協会のメンバーは、地元観光当局の支援を得て、このイベントの計画に最大限の努力を払いました。国内外のすべてのFICCメンバーが世界大会に参加して楽しんでくれることを心より歓迎します。

16世紀、ポルトガルの船乗りたちは台湾をポルトガル語で「フォルモーサ」（美しい島）と呼んでいました。台湾は人々がとてもフレンドリーで、安全で、風光明媚です。台湾を訪れたことがある人はきっと懐かしく思い出し、まだ訪れたことがない人はいつか訪れてみたいと思う国です。

このまたとない機会に、ぜひ世界大会の旅の計画を始めてください。そして私たちの心からのおもてなしをお楽しみください。